

## デジタルインプラントデンティストリーの過去・現在・未来： インプラント手術の側面から

### Past, Present, Future of Digital implant dentistry: Aspect from implant surgery

Hideaki Katsuyama

勝山 英明

医療法人社団さくら会 MM デンタルクリニック



インターネットは人類の歴史における火、農業、車、電気に次ぐ変革点である。AIはさらなる変革点となり、我々の生活を根本的に変えると予想されている。インプラント治療におけるデジタルテクノロジーは日々進歩しており、その活用の重要性は急速に増している。一方、臨床を取り巻くデジタルデータはJPEG, TIFF, DICOM, STL, MP4, AVI, dcmなど多岐に渡り、連続性がなく断片化して散乱しているのが現状である。すなわち、患者及び治療データをデジタル化したとしても断片化したデータをいかに統合するか、またいかに解析するかが鍵となり、共通のプラットフォームが最重要である。

インプラント治療において最終修復物から逆算したインプラント手術を計画するという概念が提唱されて30年近くが経過しているが、デジタルテクノロジーの進歩により組み合わせる矯正治療、必要とする骨増生量、最終補綴及びアバットメントのデザインから平行性の確認など多方面かつ異なるシミュレーションが可能となってきた。それにより、術者のみならず患者の治療計画の理解及び決定における大きな助けとなる。本講演において、デジタルインプラントロジーの進歩の推移とその時点における到達点及び問題点について言及し、断片化したデータをいかに将来的に昇華するかに関して検討する。臨床例を交え、デジタルインプラントデンティストリーの方向性をインプラント手術の観点から述べたい。

#### 【略歴】

九州大学歯学部卒業

九州大学大学院歯学臨床系口腔外科学専攻 歯学博士

Harvard 大学医学部 Beth Israel Hospital, Department of Medicine, Cardiovascular Division, Research fellow

医療法人社団さくら会理事長

公益社団法人日本口腔インプラント学会 専門医・指導医・研修施設長

日本顎顔面インプラント学会 指導医・研修施設長